

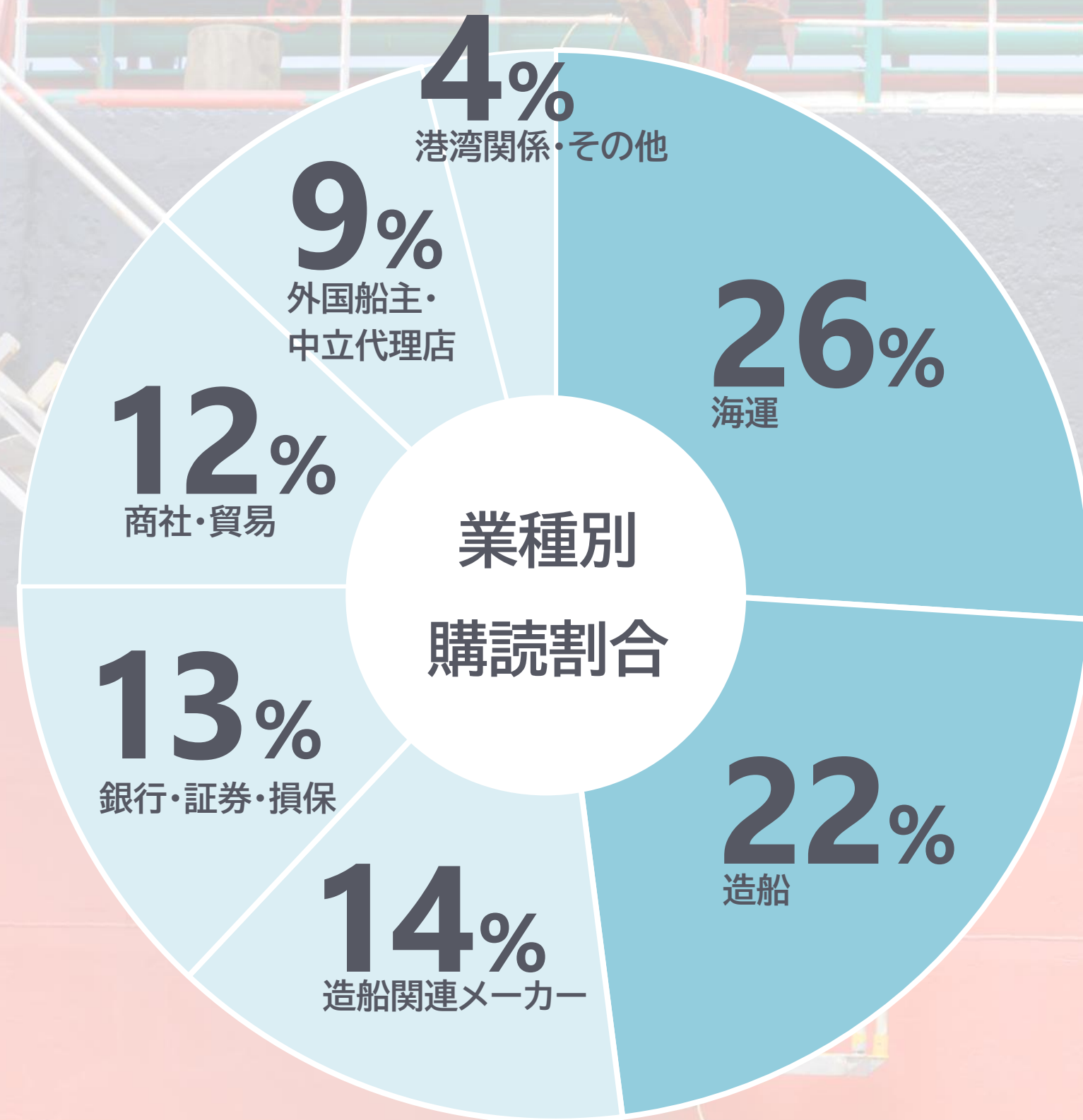
海運・造船・舶用工業を対象にした
隔月刊の海事総合誌

COMPASS
KAIJI PRESS

Media Kit

2026年7月 ver.1.0

読者データ



※2025年2月時点

Point 1

海事クラスターを構成する幅広い業種にリーチ

オペレーター、船主、造船所、舶用機器、金融、保険、商社など、海事産業の幅広いプレイヤーが読者です。

Point 2

業界主要企業の経営層・意思決定層にも高い認知度

マネジメント層をはじめ事業戦略や投資判断に関わる読者にも読まれています。

Point 3

分析・解説中心の専門誌だから長期間保存される

業界トレンドや市場動向を深掘りする内容のため、一度読まれて終わるのではなく、資料として長く手元に保管される傾向があります。



COMPASSの ご紹介

COMPASSは、海運・造船・船用工業を対象とした隔月刊の海事総合誌です。「業界の“羅針盤”になりたい」という志のもと、業界の現況や将来展望を分析・解説しています。巻頭特集では、業界トップへのインタビューや対談、技術革新、国際動向などを取り上げ、業界関係者を中心に海事産業の動向を把握する情報源として活用されています。

- 体 裁： A4判変型(タテ280mm×ヨコ210mm)、約80ページ
- 購読料： 年間9,900円(税込、年6回発行、送料無料)
※単売は1冊1,650円(税込、送料別途)
- 発行日： 毎偶数月の25日(隔月刊)
- 創 刊： 1982年1月

2026年度企画のご案内 〈2026年4月～2027年3月発行分〉

発行日	媒体名	内容
2026年4月	COMPASS 5月号	・シリーズ特集 海運脱炭素ソリューション／燃費削減ソフトウェア編 ・船隊データ分析
2026年6月	COMPASS 7月号	・シリーズ特集 海運脱炭素ソリューション／船尾省エネ技術編 ・邦船の事業戦略
2026年8月	COMPASS 9月号	・シリーズ特集 海運脱炭素ソリューション／水素編 ・船級

発行日	媒体名	内容
2026年10月	COMPASS 11月号	・シリーズ特集 海運脱炭素ソリューション／エタノール燃料編 ・P&I保険
2026年12月	COMPASS 1月号	・シリーズ特集 海運脱炭素ソリューション／バッテリー推進編 ・2026年海運造船マーケット予測
2027年2月	COMPASS 3月号	・シリーズ特集 海運脱炭素ソリューション／GHG排出管理支援編 ・海外船舶管理会社

※発行日は予定です。変更することがあります。

※掲載希望の方は、営業担当(kp-ad@kaiji-press.co.jp)またはまたは海事プレスONLINE「[お問い合わせ](#)」フォームよりお問い合わせください。



広告メニュー価格表〈純広告〉

掲載枠	サイズ (天地×左右)	掲載料金 (税別)		掲載回数
		カラー	モノクロ	
見開き	280 × 420mm	¥1,000,000	—	1回
表4 (1面)	280 × 210mm	¥700,000	—	1回
表2・表3	280 × 210mm	¥600,000	—	1回
フルページ (1ページ)	280 × 210mm	¥500,000	¥340,000	1回
1/2ページ	115 × 180mm	¥250,000	¥170,000	1回
1/3ページ	75 × 180mm	¥170,000	¥120,000	1回
1/4ページ	57 × 180mm	¥120,000	¥90,000	1回

※同一広告枠で複数回の掲載をご希望の場合、掲載回数に応じて割引を適用いたします。3回以上で10%、6回以上で20%の割引となります。

※特集や企画内容により、名刺広告の設定もございます。



広告メニュー価格表〈記事体広告〉

掲載枠（中面のみ）	文字数 （写真・図版含む）	掲載料金（税別）	掲載回数	備考
1ページ	本文は約1,000文字 画像2～3点を推奨	カラー ￥650,000 モノクロ ￥450,000	1回	持ち込み記事の場合は、当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。
2ページ	本文は約2,000文字 画像4～6点を推奨	カラー ￥1,300,000 モノクロ ￥900,000	1回	持ち込み記事の場合は、当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。

※同一広告枠で複数回の掲載をご希望の場合、掲載回数に応じて割引を適用いたします。2回以上で10%の割引となります。

※記事上部に「PR」と表示されます。

表4

裏表紙にあたる、1ページ全面広告です。大きなスペースを活かして、PR内容を効果的に訴求できます。

表4

海事総合誌 **compass** 1月号

2025年12月25日発行(掲載12月25日発行) 東京港区1号通271号 ISSN 0912-2062
発行所/株式会社 海事プレス社 〒105-6004 港区新橋5-10-5 PMO新橋II 7階 (編集) TEL:03-5835-4167 (販売) TEL:03-5835-4162

定価1,500円(税込1,650円)

- 広告寸法: 天地280mm×左右210mm
- 掲載回数: 1回
- 料 金: カラー 700,000円

※掲載希望の方は、営業担当または海事プレスONLINE「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載号がある場合は、お早めにお問い合わせください。

表2

表2

表紙(1面)の裏側にあたる、1ページ全面広告です。大きなスペースを活かして、PR内容を効果的に訴求できます。

-
- 広告寸法: 天地280mm×左右210mm
 - 掲載回数: 1回
 - 料 金: カラー 600,000円

※掲載希望の方は、営業担当または海事プレスONLINE「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。
※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載号がある場合は、お早めにお問い合わせください。

表3

表4(裏表紙)の裏側にあたる、1ページ全面広告です。大きなスペースを活かして、PR内容を効果的に訴求できます。

表3

-
- 広告寸法: 天地280mm×左右210mm
 - 掲載回数: 1回
 - 料 金: カラー 600,000円

※掲載希望の方は、営業担当または海事プレスONLINE「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。
 ※掲載枠は先着順となります。ご希望の掲載号がある場合は、お早めにお問い合わせください。

フルページ(1ページ)

フルページ

1ページ全面の広告メニューです。大きな掲載スペースを活かし、充実したPRが可能です。ご希望の掲載企画をお選びいただけます。

-
- 広告寸法: 天地280mm×左右210mm
 - 掲載回数: 1回
 - 料 金: カラー 500,000円(税別)／モノクロ 340,000円(税別)

※掲載希望の方は、営業担当または海事プレスONLINE「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。

1/2ページ

新造船受注量

発注ブーム継続で年1億トン時代へ 日韓中で計9053万トン

2年連続の1億トン超

2025年の新造船市場は、平年水準を大幅に上回る発注ブームの様相となった。特にメガコンテナ船をはじめとしたコンテナ船が記録的な発注量となり、期近な納期の船台に空きのあった中国造船所や韓国造船大手の一部によるロット受注が相次いだ。

25年前半は、米国による中国造船に対する入港料導入の発表の影響により、中国造船所への発注を手

控え、日本や韓国造船所への発注を進める動きも一部みられたが、25年9月時点での新造船受注における国別のシェアでも中国が6割を占めた。

高水準の新造船発注量が続いた結果、9月末時点での世界の手持ち工事は2億9647万総トンと、3億総トン近くに達している。2024年の年間竣工量をベースにすると、

■世界の造船受注量 (単位:万総トン)

年	日本	韓国	中国	世界合計
13年	1,436	3,612	4,484	10,492
14年	1,943	2,500	3,262	8,390
15年	2,426	2,510	2,818	8,512
16年	296	469	784	1,839
17年	232	1,824	1,511	4,314
18年	1,005	2,304	1,392	5,211
19年	654	1,731	1,382	4,076
20年	370	1,260	1,452	3,405
21年	736	3,427	4,062	8,505
22年	931	2,328	3,452	7,073
23年	1,164	1,691	5,353	8,612
24年	1,201	2,206	9,712	13,843
25年(1~9月)	818	1,688	5,295	8,286

※S&P Global Market Intelligenceを基に集計

記事中
(1/2ページ)

1/2ページの広告メニューです。ご希望の掲載企画をお選びいただけます。

■広告寸法: 天地115mm×左右180mm

■掲載回数: 1回

■料金: カラー 250,000円(税別)／モノクロ 170,000円(税別)

※掲載希望の方は、営業担当または海事プレスONLINE「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。

きる可能性があることや、平均的な全長のコンテナ船の場合、より深刻な生物汚損だと、条件によっては GHG 排出量が 55% も増加する可能性があることなどが示された。

船底を守る工夫には、長い歴史がある。古代の木造船では松脂や油脂などを塗り、その後は鉛板覆膜が試みられ、18 世紀には英国海軍が船底に銅板を貼ることでフジツボの付着を抑えていた。日本でも船底防汚技術の歴史は古い。実は、日本における特許の第 1 号は、19 世紀に出願された船底防汚塗料に関する特許だったという。腐食防止という目的とも合わせて、船の防汚が昔から重要なテーマだったことがうかがえる。

現在、生物付着を防ぐ技術の主役は、船底防汚塗料だ。この船底塗料の技術進化は、燃料価格と大きな相関関係がある。燃料価格が急騰すると、海運界では「燃料費を削減したい」とのニーズが一気に高まり、より効果の大きい塗料の開発・普及が進んできた。

例えば、1970 年代のオイルショックのころ。この後から一般的に使われ始めたのが、有機スズ（トリブチルスズ＝TBT）を防汚成分として含む自己研磨型の船底防汚塗料だ。航行中

に塗膜表面がごくわずかに溶けて常に新しい面が海水に触れる仕組みで、平滑性が保たれ、生物の付着も強力に抑えられる。当時は長期間安定して高い防汚性能と省エネ効果を発揮できることが評価され、世界の船隊に急速に広がっていった。

しかし、TBT は海洋生物に深刻な影響を与えることが報告され、2001 年には国際海事機関（IMO）で有機スズ系防汚物質の使用禁止を定めた条約（AFS 条約）が採択され、08 年に発効。これにより、TBT は船底防汚塗料として使用できなくなった。ここから船底塗料は、環境に配慮しつつ性能も追及する、新たな時代に入る。

これに続き 05 年ごろから原油価格が高騰したことで、低摩擦型の船底塗料の開発がメーカー間で急速に進んだ。生物付着を防ぐだけでなく、塗装後の塗膜表面を平滑に仕上げることで、摩擦抵抗を低減させる技術だ。この頃から、船舶の GHG 排出削減も海運界の重要なテーマとしてクローズアップされるようになり、船底防汚は燃費性能改善による経済性に資するだけでなく、GHG 排出削減技術とみなされるようになってきた。

塗料に求められる性能が増す中、

塗料メーカー各社は、塗料性能の向上によるさらなる「低燃費化」と「環境負荷低減」の両立を図っている。船体の摩擦抵抗低減による燃費向上に向け、塗膜表面の平滑性を向上させる技術を採用することはもちろん、高い防汚性能を持つ新たな防汚剤の適用や、防汚剤の溶出の適切なコントロール、防汚剤フリー塗料といった塗料自体の環境負荷低減など、さまざまな技術を開発・提案する。

滑らかな船底に

船底防汚塗料は大きく分けて「水和分解型」「加水分解型」「ファウルリリース型」に分類される。

現在の船底塗料の主流になっているのが、加水分解型だ。海水の弱アルカリ成分との化学反応により加水分解が起こり、船底塗料の塗膜表面が少しずつ水中に溶け出すことで船底への海洋生物の付着を防ぐ仕組み。塗膜の表層が平均的に溶け出すので、常に滑らかな塗膜表面が保たれ、安定して防汚機能を持続できる。各塗料メーカーは、塗膜の平滑性をなるべく高めて摩擦抵抗を抑える平滑化技術や、より強力な防汚性能を発揮する技術の開発に注力している。

1/4ページ

1/4ページの広告メニューです。ご希望の掲載企画をお選びいただけます。

記事
(1/4ページ)

- 広告寸法： 天地60mm×左右180mm
- 掲載回数： 1回
- 料 金： カラー 120,000円(税別)／モノクロ 90,000円(税別)

※掲載希望の方は、営業担当または海事プレスONLINE「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。

記事体広告(1ページ)

記事広告1ページ分のメニューです。キーマンインタビューや新サービス紹介、周年企画など、幅広い企業PRにご活用いただけます。

記事体広告 (1ページ)

3 COMPASS January 2026

-
- 原稿分量: 本文は約1,000文字、画像2～3点を推奨
 - 掲載回数: 1回
 - 料 金: カラー 650,000円(税別)／モノクロ 450,000円(税別)

※当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。
 ※記事上部に「PR」と表示されます。
 ※ご要望に合わせた紙面デザインを作成し、ご確認いただけます。
 ※掲載希望の方は、営業担当または海事プレスONLINE「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。

記事体広告(2ページ)

見開き2ページ分を活用し、キーマンインタビューや新サービス紹介、周年記念などの企業PRを実施することが可能です。

記事体広告 (1ページ)

- 原稿分量： 本文は約2,000文字、画像4～6点を推奨
- 掲載回数： 1回
- 料 金： カラー 1,300,000円(税別)
モノクロ 900,000円(税別)

※当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。
 ※記事上部に「PR」と表示されます。
 ※ご要望に合わせた紙面デザインを作成し、ご確認いただけます。
 ※掲載希望の方は、営業担当または海事プレスONLINE「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。

広告入稿時のガイドライン

広告データの入稿ガイドラインを規定しています。広告出稿をスムーズに行うために、以下の項目を満たしているか事前にご確認ください。

■基本ルール

入稿の際の主なルールは以下の通りです。詳細が必要な場合はお申し付け下さい。別途、入稿仕様書をお送りします。

- 入稿データ:アウトライン済みのAdobe Illustratorデータまたは、印刷用高解像度PDF
- 見本: 原寸で書き出した見本PDFをお送りください。
- 解像度:300dpi以上
- 色設定:CMYK(プロセスカラー)または、グレースケール ※RGB・スポットカラー(特色)は使用不可。

■広告制作について

当社にて広告のレイアウト制作およびリサイズを承ります。制作費は、内容にかかわらず原則一律3万円です。

株式会社海事プレス社

本 社 〒105-0004 東京都港区新橋5-10-5 PMO新橋Ⅱ 7階

広告に関するお問い合わせ

メディア営業部(kp-ad@kaiji-press.co.jp)
または海事プレスONLINE「[お問い合わせ](#)」フォーム